

都市再生整備計画 事後評価シート
福山駅南地区

平成23年3月

広島県福山市

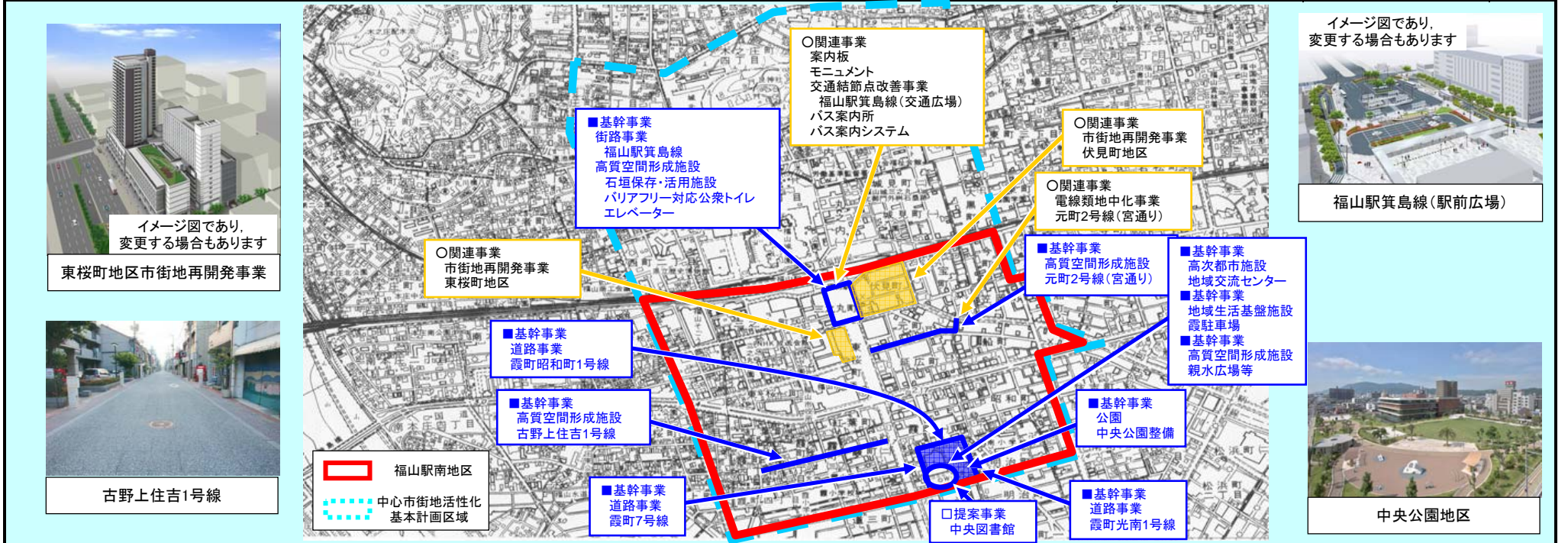
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県	市町村名	福山市	地区名	福山駅南地区			面積	93ha				
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	6910.1百万円	国費率	0.301						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路事業【霞町昭和町1号線、霞町7号線、霞町光南1号線、福山駅貨島線(駅前広場整備)】、公園事業【中央公園】、地域生活基盤施設【霞駐車場】、高質空間形成施設【元町2号線、古野上住吉1号線、親水広場等】、高次都市施設【地域交流センター】										
		提案事業	地域創造支援事業【中央図書館】										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名										
		提案事業	削除/追加の理由										
			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響										
	新たに追加した事業	基幹事業	エレベーター、バリアフリー対応公衆トイレ		ユニバーサルデザインに配慮した整備を行う。		影響なし						
		提案事業	石垣保存・活用施設		市民に福山の歴史を感じてもらえるよう、福山城外堀遺構の一部を保存活用した整備を行う。								
	交付期間の変更	当初	平成18年度～平成20年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
		変更	平成18年度～平成22年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
	指標1	地域交流センター利用者数	人	41,598	H16	43,700	H22	-	127,536	○	あり	図書館、駐車場、公園、周辺道路と一体的に整備した相乗効果等により、利用者数が目標値を大きく上回った。	H23年4月
											なし		
	指標2	流動客数	人	167,554	H17	176,000	H22	-	127,919	△	あり	● 目標が達成できなかったことについては、駅前広場等の整備が事業中であることによる影響もあると考えられるが、事業実施により、地区全体の流動客数の減少状況は持ち直してきており、整備が完了した施設の周辺においては、施設整備による効果に加え、これをきっかけとした商店街等によるイベント開催の影響により、流動客数が増加している。	H23年8月
										なし	●	● 目標が達成できなかったことについては、駅前広場等の整備が事業中であることによる影響もあると考えられ、地区全体の空店舗率の増加は続いているが、整備が完了した施設周辺においては、施設整備による効果に加え、これをきっかけとした商店街等によるイベント開催の影響により、空店舗率の増加に歯止めがかかっている。	H23年5月
	指標3	空店舗率	%	9.4	H16	8.9	H22	-	16.0	×	あり		
										なし	●		
	指標4	中心市街地内の人口	人	5,045	H17	5,300	H22	-	5,432	○	あり	● 地価の下落等によるマンション建設の増加に加え、各種事業の実施により、中心市街地の魅力がより高まりつつあることなどから潜在的な都心回帰のニーズが呼び起こされ、人口が増加した。	H23年4月
										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
	その他の数値指標1	中央図書館入館者数	人	381,600	H17			-	748,413			● 地域交流センター、駐車場、公園、周辺道路と一体的に整備した相乗効果等により、入館者数が増加した。	H23年4月
4)定性的な効果発現状況	地下送迎場整備に当たり、福山城外堀遺構が良好な状態で発見され、その保存活用方法について、専門委員や市民の意見を聞きながら検討を進めた結果、福山城の歴史が偲ばれる駅前広場の計画とすることができた。												
5)実施過程の評価	モニタリング	なし	実施内容		実施状況			今後の対応方針等					
					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			なし					
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	福山駅前広場整備に関する懇談会を開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた			● 今後のまちづくりの方針等を決定するに当たり、必要があればパブリックコメント等を実施し、市民の意見を求める。					
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			なし					

様式2-2 地区の概要

福山駅南地区(広島県福山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 備後都市圏の拠点として、人を惹きつける中心市街地の創造 目標1: 中心市街地の交流拠点となる施設を整備することにより、福山駅を中心に歩行者の回遊性を高め賑わいを再生する。 目標2: 福山駅前広場の整備により、安全性・交通アクセス条件・快適性を高め、備後都市圏の玄関口として人の流れを街なかへ誘導する。 目標3: 市民生活の拠点としての役割を高め、住み良い中心市街地とする。	地域交流センター利用者数	単位: 人	41,598	H16	43,700	H22	127,536	H22
	流動客数	単位: 人	167,554	H17	176,000	H22	127,919	H22
	空店舗率	単位: %	9.4	H16	8.9	H22	16.0	H22
	中心市街地内の人口	単位: 人	5,045	H17	5,300	H22	5,432	H22
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 計画区域内における居住人口が増加に転じたほか、流動客数や空店舗率についても、事業が完了している箇所については一定の効果が見られた。 地域交流センターは、図書館、駐車場、公園、周辺道路と一体的に整備した相乗効果等により多くの人に利用されており、新たな交流拠点となっている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の賑わいを創出するため、ソフト事業の充実等、地域の事業者と商工会議所等が一体となって展開する施策に対し、必要に応じて支援を行う。また、伏見町地区市街地再開発事業の事業化に向け、状況に応じた効果的な支援を行う。 事業計画の立案に当たって、当該事業の効果を相乗的に増進させる可能性のあるハード事業やソフト事業がある場合は、それぞれの事業の実施時期や実施方法を検討し相乗効果発現に向けた連携を図る。 新たな交流拠点となっている中央公園地区において、公園や図書館等を一体的に整備した特徴を活かしたイベントの開催や、地域交流センターで開催する各種講座の充実を図る。 福山駅西町線等、これまでに実施してきた事業とも一体となって交通結節点としての機能を発揮するため、駅前広場整備の早期完成に努める。